

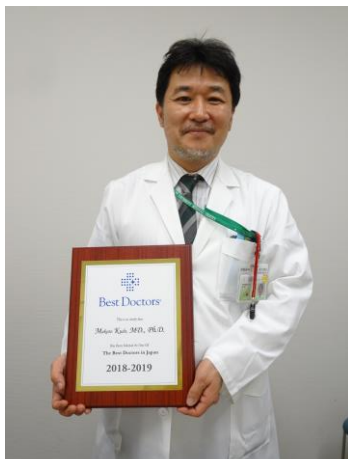
## 附属市民総合医療センター工藤副病院長が 「Best Doctors in Japan 2018-2019」に選出

横浜市立大学附属市民総合医療センター副病院長の工藤誠准教授（呼吸器病センター担当部長）が、米国ベストドクターズ社が発表する「Best Doctors in Japan 2018-2019」※に選出されました。

工藤副病院長は呼吸器内科学を専門としており、当院呼吸器病センターでの診療に加え、本学医学部呼吸器病学教室では主に気管支平滑筋の収縮調節について研究活動を進めています。現在は、「気管支喘息における上皮間葉転換の発現機序に関する研究」を研究課題として科学研究費助成事業にも取り組んでいます。

### 【本人コメント】

このたびは『Best Doctors in Japan 2018-2019』にご選出いただき、心より感謝申し上げます。これまでお世話になった関係の皆様や同僚に恵まれたからこそだと存じます。これからも患者さんやご家族への分かりやすい説明、安心かつ安全な医療の提供に貢献すべく、初心を忘れずに、精進してまいります。



### 【プロフィール】工藤 誠（くどう まこと）准教授

◆横浜市立大学附属市民総合医療センター 副病院長

附属市民総合医療センター 呼吸器病センター 担当部長

医学部呼吸器病学教室 准教授

1996年に横浜市立大学医学研究科修了。国立病院機構相模原病院臨床研究部、神奈川県立循環器呼吸器病センターで勤務、気管支喘息の基礎研究、臨床研究、実地臨床を実施。2009-2012年、カリフォルニア大学サンフランシスコ校で研究。以後、気管支平滑筋の収縮調節について研究活動を行っている。

### ※「Best Doctors in Japan 2018-2019」

この賞は、米国ベストドクターズ社が1991年から実施している調査（日本では1999年から）で、「医師が選ぶ名医」として、医師に「ご自身またはご家族が、ご自身の専門分野である病気に罹患した場合、自分以外の誰の手に治療を委ねるか」という観点から同一または関連専門分野の他の医師の評価により選出されます。1999年からの調査以来2018年5月現在、日本の医師は6,434名が登録されています。